

海外安全対策情報（2025年1月～3月）

1 社会・治安情勢

(1) テロ等の傾向

ア 1月のテロ発生件数は56件であった。テロにより70人が死亡し109人が負傷した。

2月のテロ発生件数は54件であった。テロにより121人が死亡し103人が負傷した。

3月のテロ発生件数は94件であった。テロにより207人が死亡し、229人が負傷した。

テロ発生件数は前期（2024年10月～12月期）から51件増加（153件→204件）し、死者は66人増加（332人→398人）、負傷者は62人増加（379人→441人）した。

イ 今期においては、即席爆破装置（IED）攻撃や銃撃が主要なテロの手段であり、その標的の多くは軍・治安当局とその関連施設であるが、テロ組織の中には中国・パキスタン経済回廊（CPEC）や中国関連施設を標的と公言している勢力もある。

ウ 都市部や地方の別に関わらず、治安当局によるテロリストの拘束及び武器・弾薬等の押収が多く確認された。治安当局による精力的な取締りが行われているが、依然としてイスラマバード首都圏を含めた都市部においてもテロの脅威は存在している。

エ なお、2024年中、パキスタンでは521件（2023年306件）のテロが発生し4年連続の増加となった。パキスタンのテロ発生件数は、軍及び治安機関等によるテロリスト掃討作戦により2009年以降減少傾向にあったものの、2021年以降増加傾向にある。2021年に隣国アフガニスタンの首都カブールが陥落して以降、地域情勢は不安定化しパキスタンにも大きな影響が及んでいる。

(2) 各種デモ

当地では、主に金曜礼拝後、各種団体による様々なデモが行われる傾向にあり、デモ参加者の行動がエスカレートし一部が暴徒化することもある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 銃器使用犯罪

今期においても、前期と同様に銃器を使用した犯罪及び押収事案が相次ぎ、特に主要道路から離れた路地等人通りが少ない場所においては、その危険性が高い。主要都市部においても、銃器を使用した強盗事件（ガンポイント）や侵入強盗事件が頻発している。

治安当局は継続的な銃器の取締りに取り組んではいるものの、違法に所持し摘発されるケースが後を絶たず、違法銃器のまん延が問題となってい

る。

(2) その他

今期においても連日、不法な銃器・爆発物・薬物・酒類の押収事案が報じられた。これらの事案は、厳重な警戒下にあるイスラマバード市内においても、テロ発生の可能性は依然として排除できないことを示している。

なお、今期においては発生していないものの、以下についても引き続き注意が必要である。

ア 招き入れ型侵入犯罪

イスラマバード首都圏は富裕層が多く居住しており、各家屋には警備員やドライバー等の使用人を雇っている家主が多いが、これら使用人が犯罪者側と共謀し家屋内に招き入れて犯罪に加担する事件が時折発生している。また、家主の不在の間に家屋に侵入し、金品を窃取する事件が発生しているため、在宅の有無にかかわらず施錠を行うほか、使用人、警備員等への指導を徹底する必要がある。

イ 名誉殺人

当国では地方を中心に、親が認めない相手との交際などで、家族の名誉を汚したとして女性又はその交際相手が殺害される、所謂名誉殺人が後を絶たない。今なお保守的なパキスタン社会では、毎年多くの女性が名誉殺人の犠牲になっており、凄惨な殺害事件も発生している。また、当地では親同士が本人の意思と関係なく決めた相手と結婚させるのが都市部でさえ一般的であり、それに起因するトラブルで結婚相手やその家族・親族等からのDV被害も深刻な問題となっている。

ウ 性犯罪及び虐待

当地では、婦女暴行を含む性犯罪及び虐待事件が頻繁に報道され、その発生件数は非常に多く、性犯罪は増加傾向にあると報じられている。同種事件の被害者は、二次被害のおそれ等から警察に届け出ないことが多く、被害実態は正確に把握できない。被害者の年齢及び性別は多様で特に子どもをターゲットにした極めて悪質な犯行も多く発生しており、誰もが被害者になる可能性がある。また、最近の報道によると、イスラマバード市内居住の外国人駐在員女性が自宅の警備に従事している警備員に寝室に押し入られ、性的暴行を受けた事件が発生している。当地では、「自分の身は自分で守る」という意識を常に持ち、決して油断することなく、細心の注意を払うことが重要である。

エ サイバー犯罪

パキスタン連邦捜査庁（FIA）サイバー犯罪部門は、SNSを通じた詐欺投資話、違法な資金取引、児童ポルノのアップロード等、サイバー領域における監視を強化している。FIAでは、違法な手段で入手した資金がマフィアの活動資金となっているとして、摘発を強化している。

オ プロの物乞い

イスラマバード首都圏では、マフィアの支配下にある物乞いが問題と

なっており、イスラマバード警察では摘発に力を入れている。道路上での物乞いを装って、拳銃強盗を働くケースも報告されている。物乞いに窓を開けて対応する等、不注意な行動は犯罪者に隙を与えるため、慎む必要がある。

カ 宗教上の禁忌に対する反応

2021年12月3日、パンジャーブ州シアルコートの工場において、スリランカ人マネージャーをパキスタン人従業員が撲殺し、その遺体に路上で放火する事件が発生した。事件の発端は、宗教的禁忌（預言者ムハンマドに対する冒瀆）に起因しており、激高した多くの従業員が暴徒化した。宗教上の禁忌に十分な注意を払い行動する必要がある。

3 誘拐・脅迫事件発生情報

今期、日本人が対象となる誘拐事件は発生しなかった。

当地では、パキスタン人が誘拐される又は誘拐後に殺害されて発見される事件が頻繁に発生している。誘拐・脅迫事件の背景としては、テロ組織による、誘拐事件を利用した政府等への身代金等の要求又は資金稼ぎを目的として犯行に及ぶケースの他、犯罪者が、強姦等の性犯罪や身代金目的で行うケースがある。このような誘拐事件は、解決までに多大な労力・時間を要すると共に、誘拐された被害者が殺害される可能性もあることから、事件に遭わないための安全対策が重要である。

また、女性や子供が性犯罪目的で誘拐される事件が多く報道された。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

今期においては発生していないものの近年に以下の邦人被害を含む事案が発生している。

(1) 邦人被害について

2024年4月19日、カラチ市内コーランギー地区ランディー・タウン、セクター20において、邦人複数名が乗車する車列に対して襲撃される事件が発生し、邦人1人が負傷、攻撃に参加したテロリスト2人及び警備員1人が死亡、警備員1人及び通行人1人の計2人が負傷した。

(2) 外国人被害について

ア 2020年12月15日、カラチ市南地区において中国人の車両にリモート爆弾が設置されたが不発だった。この中国人はレストランを所有している。同人がクリフトン地区のショッピングモールから帰宅していたところ、オートバイに乗車した2人の男が中国人車両に接触した後に逃走した。その際に爆発物が磁石で取り付けられた。

イ 2021年4月、クエッタにおいて駐パキスタン中国大使が滞在していたホテルに対するテロが発生した。さらに、同年7月14日には、KP州のダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらを乗せた中国企業のシャトルバスが建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人及びパキスタン人

十数人が死亡し、数名が負傷した。

ウ 2021年8月20日、バロチスタン州グワダルにおいて CPEC 関連事業に従事する中国人技術者を狙った自爆テロが発生し、中国人及びパキスタン人9人が死亡、複数の負傷者が出た。

エ 2022年4月26日午後、シンド州カラチ市のカラチ大学に隣接する孔子学院前で自爆テロが発生し、中国人教員3人を含む4人が死亡、2人が負傷した。

オ 2022年9月28日午後、カラチ市サダル地区にある歯科医院内で殺害事件が発生し、中国人1人が射殺され、2人が負傷した。

カ 2024年3月26日、KP州においてダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらに乗せた車両が建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人5人とパキスタン人1人が死亡した。

キ 2024年9月22日、KP州スワート郡で、12か国の外交官を含む代表団が、イスラマバードに戻る途中で車列を警護していた警察車両が IED による攻撃を受けた。外交官らは無傷で無事イスラマバードに戻ったが、警察官1人が死亡しほか5人が負傷した。

ク 2024年10月、カラチ市のジンナー国際空港付近において、大規模な爆破テロが発生し、中国人を含む3人が死亡したほか、外国人を含む17人が負傷した。

(3) 総論

当地においては、活動地域の最新の治安・安全情報の入手を欠かさず、安全を第一に考えた行動方針を定め、まずは事件に遭遇しないための対策を講じるとともに、万が一の事態を想定した具体的な警備・連絡体制を確立することが重要である。

また、当国政府の政策として、外国人の入域を制限している地域が国内各地に存在し、そのような地域に政府からの事前の許可を得ず（又は事前通報をせず）入域した場合には、現地治安当局による安全対策がなされないばかりか、速やかな退去を命ぜられ、また犯罪に巻き込まれた際に通常の警察活動が期待できない場合があるので、当国政府の規定に従い、事前に然るべき手続きを行うことが必要である。

なお、手続きを行ったにもかかわらず、政府からの入域許可が得られない場合には、安全上の問題が生じる可能性があるため、当該地域への入域は控えることが望ましい。

5 2024年4月から2025年3月までのテロ発生状況

2024年

4月	34件、死者	47人、負傷者	32人
5月	36件、死者	35人、負傷者	57人
6月	27件、死者	32人、負傷者	36人
7月	38件、死者	61人、負傷者	44人
8月	59件、死者	84人、負傷者	166人

9月	45件、死者	54人、負傷者	117人
10月	48件、死者	100人、負傷者	80人
11月	61件、死者	169人、負傷者	225人
12月	44件、死者	63人、負傷者	74人
2025年			
1月	56件、死者	70人、負傷者	109人
2月	54件、死者	121人、負傷者	103人
3月	94件、死者	207人、負傷者	229人

(出典：パキスタン平和研究所「PIPS」)

6 安全を考える上で参考となる事件等 (報道ベース)

1月分

- 1日、KP州北ワジリスタン郡スピンワム Tehsil で、IEDが爆発し、治安要員1人が死亡、1人が重傷を負った。
- 1日、バロチスタン州キッラ・アブドゥッラー郡郊外で、国営石油・ガス開発企業(OGDCL)のピックアップトラックが同社の野営地に入った際に IED が爆発し、運転手が負傷、トラックが完全に破壊された。警察当局によれば、テロリストらは OGDCL のキャンプを攻撃する計画を立てていたという。なお、以前から同社は同郡で石油・ガスの探査に取り組んでいる。
- 2日夜、バロチスタン州カチ郡ハジ・シャル地区付近で、身元不明の武装集団がシビ県長の車両に発砲したが、車列を護衛していた治安要員が応戦し、犯人は現場から逃走した。同県長と同行者は無事であった。
- 3日、KP州ラッキー・マルワット郡クーラム・パル地区で、カラク郡から乗用車でパンジャーブ州ミアンワリ郡へ向かっていた兵士2人がテロリストにより誘拐され、1人は逃れたが、もう1人は拉致された。情報筋によれば、武装集団が、カラク郡とミアンワリ郡に接するワンダ・グラパ地区付近の田舎道を封鎖し、車両を確認していた。
- 3日、KP州バンヌー郡ママシュケル地区で、警察官1人がオートバイに乗った武装集団に射殺された。
- 3日深夜、イスラマバードの I-9 警察署を狙ったロケット弾攻撃が発生し、建物に命中した。
- 4日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット郊外ニュー・ベフマン地区で、爆発物を積んだ車両が、辺境警察隊(Frontier Constabulary)FC 隊員を乗せたバスに衝突し、FC 隊員5人を含む少なくとも6人が死亡、子どもや警察幹部を含む35人が負傷した。バローチ解放軍(BLA)が犯行声明を出し、マジード旅団が自爆攻撃を敢行したと述べた。
- 4日、警察テロ対策局(CTD)は、シンド州ジャムショロ郡アル・マンザル地区で、レンジャーや情報機関への攻撃を計画していた活動禁止団体に所属するテロリスト2人を逮捕した。
- 4日、KP州クーラム郡バガン地区で、食料品及びその他必需品を輸送する

車列のタルーパラチナール間の道路通行を確保するために警護員と共に移動していたジャベドゥッラー・メフスード同郡長(DC)が攻撃を受けて負傷した。現場では、数か月に亘る暴力で破壊された家屋や店舗への補償を求める抗議活動が行われており、デモ隊の中に犯人が紛れていた。これを受け翌5日、同州当局は、刑事訴訟法(CrPC)第144条を発動し、全ての公共集会、会合、銃器の携行を禁止するとともに、同郡への必需品の供給を中断した。

- 4日深夜、KP州ハイバル郡ティラー渓谷で、アワミ国民党(ANP)同郡支部長の家が身元不明の者により占拠され、さらに爆発物を仕掛けられた後、放火されて全焼した。
- 6日、KP州ラッキー・マルワット郡ジャブケル地区で、身元不明のオートバイに乗った武装集団からの攻撃を受け、警察官2人が死亡した。犯人は逃走したが、治安機関と住民が作戦を行い、武装勢力司令官1人を殺害した。
- 5日夜、KP州バンヌー郡バッカケル地区の空港近くにある辺境警察隊(Frontier Constabulary)FCの駐屯地が襲撃され、FC隊員2人が負傷した。FCの応戦により襲撃者らは逃走した。また、同日夜、同郡ワジールTehsilバルガントー地区の検問所が、軽・重火器で武装したテロリストに攻撃されたが、警察が応戦した。また、同州ラッキー・マルワット郡のマンジワラー道路で、武装集団が民間警備会社の現金輸送車を手榴弾とロケット弾で攻撃し、運転手が死亡、その他数人が負傷した。
- 5日夜、KP州ローワー南ワジリスタン郡ワナTehsilダザ・グンダイ地区で、FCと警察の共同検問所が武装集団によって攻撃されたが、FCと警察の反撃を受けて行為者らは逃走した。
- 6～7日、KP州ペシャーワル市、モーマンド郡及びカラク郡での戦闘で、治安機関がテロリスト19人を殺害した。
- 7日、ペシャーワル市南端マタニ地区で、治安機関は情報に基づく作戦(IBO)を遂行し、テロリスト8人を殺害したほか、モーマンド郡バイザイ地区でのIBOでもテロリスト8人を殺害した。カラク郡では、治安機関が武装集団の拠点を攻撃し、テロリスト3人を殺害したが、兵士3人が死亡した。
- 7日、バロチスタン州パンジュグル郡クダバダン地区で、憲兵隊員1人が身元不明の襲撃者によって射殺された。同州クエッタ市サリアーブ地区で、武装集団が警察に発砲し、警察側が応戦するも銃撃戦で通行していた子ども1人が死亡、警察官3人が負傷した。
- 7日夜、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリTehsilで、ハルムズ村とハンケル村の検問所が武装集団により襲撃され、治安機関員との間で銃撃戦が発生したところ、迫撃砲弾が民家に着弾して女性2人と子ども3人が負傷した。
- 8日、バロチスタン州クズダール郡ゼヘリTehsilで、約80人からなる武装集団がメイン・バザール周辺を制圧した後、憲兵隊駐屯地、国家データベース登録局(NADRA)事務所、同Tehsil委員会事務所及び民間銀行を含む複数の政府庁舎を襲撃して放火した。BLAが犯行声明を出した。
- 8日、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリTehsilのバザールで、CTDの職

員 1 人が銃撃されて死亡した。

- 8 日、KP 州タンク郡で、警察爆弾処理班が FC の車列を狙って検問所付近に仕掛けられていた IED の信管を外してテロを阻止した。
- 8 日夜、KP 州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ Tehsil ガラ・バクティアル・モル地区で、治安機関の車列が検問所に到着した際に武装集団からの襲撃を受け、兵士 1 人が死亡、4 人が負傷した。
- 9 日、KP 州ラッキー・マルワット郡で、ラッキーダラ・タング間の道路を移動していたパキスタン原子力委員会 (PAEC) の民間労働者少なくとも 17 人と運転手が、武装集団に拉致された。警察によれば、これまでに 8 人が救出された。事件後、拉致された労働者らの動画がソーシャルメディア上で共有され、労働者らは政府に武装集団の要求に応じるよう訴えた。TTP が犯行声明を出した。
- 9 日夜、バロチスタン州カーラーン郡ジャングル・ロードで、ノーシェルワーニー同州財務・鉱物資源大臣の家が身元不明のオートバイに乗った武装集団による手榴弾攻撃を受けた。同州大臣は不在であり、死傷者は報告されていないが、門に軽微な損傷を受け、窓ガラスも数枚破壊された。
- 9 日夜、バロチスタン州カラート郡長の家が手榴弾攻撃を受け、警察官 1 人が負傷した。
- 9 日、バロチスタン州ハブ郡ハブで、身元不明のオートバイ乗りらが、警察署に手榴弾を投げつけ、窓ガラスが破壊されたが、人的被害はなかった。
- 10 日、バロチスタン州チャマン郡のステーション・ロード付近で、FC のトラックが通過した際に、身元不明の者らが駐車中のオートバイに仕掛けた IED が爆発し、少なくとも通行人 4 人が負傷した。TTP が犯行声明を出した。
- 10 日、バロチスタン州マストゥング郡ダシュト地区で、身元不明の武装集団が憲兵隊の検問所に放火し、武器を盗んだ。当局によれば、9 日夜～10 日、武装集団はコールプール地区のクエッタ市ーシビ郡間の高速道路を封鎖し、車両のチェックをし始め、後に検問所を襲撃した。武装集団は、近くのセメント工場に侵入し、機械に放火した旨も報じられている。
- 10 日、バロチスタン州クズダール郡ゼヘリ Tehsil ショウキ地区で、同 Tehsil 長の車両を狙った IED 爆発が発生したが、同 Tehsil 長は無事だった。
- 10 日、KP 州デラ・イスマイル・カーン郡マディ地区で、治安機関が IB0 を遂行し、テロリスト 5 人を殺害、2 人を負傷させた。
- 10 日、KP 州ラッキー・マルワット郡サライ・ノーラング Tehsil ガンディ・チョークで、同州北ワジリスタン郡の部族間で開かれていたジルガの最中に発砲事件が発生し、警察官を含む 2 人が死亡、3 人が負傷した。
- 10 日、KP 州北ワジリスタン郡ミール・アリ Tehsil モスキ村で、テロリストが発射した迫撃砲が住宅に着弾し、女性 5 人及び子ども 1 人が重傷を負った。
- 10 日、KP 州ローワー南ワジリスタン郡ワナ Tehsil とスカウト・キャンプ (当館注：準軍事組織の住居地区)間のカディ・コート・ロード沿いで、建設中の建物の付近に爆発物が置かれていたが、爆弾処理班により処理された。

- 11日、KP州北ワジリスタン郡ダッタケル Tehsil ザンゴティ地区で、検問所が軽火器や重火器を持ったテロリスト約12人に攻撃され、銃撃戦により治安機関員2人が死亡、2人が負傷したほか、テロリスト6人が殺害された。
- 11日、KP郡ミール・アリ Tehsil ビジ・フォートで、手榴弾が爆発し、治安機関員4人が負傷した。
- 11日、KP州北ワジリスタン郡ドサリ地区で、治安機関はIBOを遂行し、テロリスト6人を殺害、2人を逮捕したほか、同郡エシャーム地区でも、治安機関がIBOを遂行し、テロリスト3人を殺害、2人を負傷させた。
- 11日夜、バロチスタン州ノシュキ郡バダール・カレーズ地区のクエッタ市ータフタン間の高速道路で、身元不明の武装集団が、鉱物を積んだトラックを襲撃し、1台に放火、ほか2台に発砲し損傷させたが、運転手らには危害を加えなかった。
- 13日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット Tehsil で、同 Tehsil 保健局の警備員である男性が、グワダルークエッタ間の高速道路に爆弾を仕掛けようとした際に爆弾が暴発して死亡した。
- 14日、KP州タンク郡で、テロリストらが装甲兵員輸送車に発砲し、警備員1人が死亡した。警察が応戦したが、犯人らは逃走した。
- 14～15日、KP州北ワジリスタン郡スピンワム Tehsil で、治安機関がIBOを遂行し、テロリスト4人を殺害するとともに、武器弾薬を回収した。
- 15日朝、KP州デラ・イスマイル・カーン郡カントメント警察署管内のディヤール・ロードで、帰宅中の警察官1人が武装集団により射殺された。
- 15日、KP州タンク郡ローワー・バティアリで、同州デラ・イスマイル・カーン郡のゴマル・ザム・ダムで働いていた灌漑局職員が身元不明の武装集団に拉致された。翌16日、同職員は救出され、無事に帰宅した。
- 16日、KP州クーラム郡バガン地区で、パラチナールに食糧やその他必需品を運んでいた35台の車列がロケット弾と自動小銃で襲撃され、治安機関員1人が死亡、4人が負傷したほか、車両3台が損傷した。車列を護衛していた治安機関員が応戦し、犯人6人を殺害、10人を負傷させた。本事件により同郡全域で宗派間衝突が再燃する可能性が指摘されている。
- 15日夜、KP州バジヨール郡サラルザイ Tehsil の丘陵地帯シェカン・バンダ・マラサイド地区で、迫撃砲弾2発が住宅2軒に命中し、子ども3人が負傷した。
- 16日、KP州ラッキー・マルワット郡バルキ・コルーナ地区付近で、帰宅中の警察官1人が身元不明の者らに銃撃されて死亡した。同郡では過去10日間で2度目となる警察官への襲撃であった。
- 17日、警察は、KP州クーラム郡南部のバガン地区で前16日に発生した車列襲撃事件により殺害された運転手4人の遺体を発見した。遺体は両手を縛られた状態で発見され、拷問の跡が残っていたという。また、車列襲撃事件により負傷した治安機関員1人が死亡し、本事件により治安機関員合計2人が死亡、5人が負傷した。情報筋によれば、タールからパラチナールに向かった

トラック 35 台のうち、タールに戻れたのはわずか 2 台で、10 台以上が略奪され、放火されたほか、運転手のうち 5 人は依然として行方不明であるという。バガン地区では、3 週間以上座込み抗議活動が続いており、抗議者らは町の再建と以前の攻撃で被った損害の補償を要求しており、要求が満たされるまで車列がパラチナールに向かうのを許可しないと誓っている。

- 16 日夜、バロチスタン州カラート郡ネチャラ地区で、道路脇に仕掛けられた IED が爆発し、パトロール中の FC 隊員 1 人が死亡、2 人が負傷した。
- 16 日夜、KP 州バンヌー郡シェイク・ランダク地区で、武装集団が検問所を占拠しようとして重火器で襲撃した。警察側は、住民の援護と共に効果的に応戦し、犯人らは逃走を余儀なくされたが、警察官 1 人が負傷した。
- 18 日、KP 州バンヌー郡バンで、身元不明のテロリストらがミラケル警察署に手榴弾を投げつけたが、不発であったため死者は出ず、爆弾処理班が処理した。
- 18 日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット市郊外で、検問所がオートバイに乗った武装集団によって襲撃された。武装集団は、警察官らを一質に取り、武器、無線機及びその他装備を奪った後、検問所に放火して逃走した。死傷者は出なかったが、検問所は完全に破壊された。
- 18～19 日の夜、バロチスタン州ジョーブ郡で、治安機関は、アフガニスタンからサンバザ地区を通して越境しようとした武装集団を発見し、侵入を阻止するとともに、武装集団 5 人を殺害した。
- 19 日、バンヌー郡バンヌーミランシャー間道路のアーザード・マンディ地区付近で、身元不明の者らが仕掛けた IED が爆発し、警察車両が一部損傷したが、警察官は無傷であった。
- 21 日、クーラム郡バガン地区で 16 日に発生した車列襲撃事件後に行方不明となっていた運転手 1 人の遺体が発見されたことを受け、同事件の死亡者は治安機関員 2 人を含む 9 人に増加した。
- 20 日、バロチスタン州キッラ・サイフッラー郡で、同郡本部郊外にある国営石油・ガス開発企業(OGDCL)の仮設事務所に通じる道路に身元不明の者らが仕掛けた IED が爆発し、OGDCL の従業員 1 人が死亡、1 人が負傷した。OGDCL はこの地域で石油・ガス探査プロジェクトに取り組んでいる。
- 20 日、KP 州ハイバル郡バラ・バザールで、活動禁止テロ組織ラシュカレ・イスラムの元司令官 1 人が、身元不明の者らにより射殺された。同元司令官は、拘置所で 1 年間過ごした後釈放されていた。
- 21 日、バロチスタン州パンジュゲール郡チャティカン地区で、NADRA 地域事務所に武装集団が押し入って発砲し、職員 1 人が射殺され、1 人が負傷した。警察は本事案を標的殺人と見ている。
- 21～22 日、バロチスタン州パンジュゲール郡パンジュゲール・タウン郊外で、身元不明のオートバイに乗りらが憲兵隊の検問所付近にロケット弾を発射し、駐留していた憲兵隊を制圧した。襲撃犯らは、検問所を略奪し、憲兵隊員らを一質に取った後、検問所に放火した。

- 21 日夜、同州ノシュキ郡付近のクエッタータフタン間の高速道路で、身元不明の武装集団が、クエッタに鉱物を輸送中だったと見られるトラック 2 台を襲撃して放火した。トラック 2 台は完全に破壊されたが、死傷者は出なかった。
- 22 日、KP 州ペシャーワル市郊外で、身元不明のオートバイに乗りらがマトラ警察署の検問所に手榴弾を投げつけ、警察官 2 人が負傷した。
- 22～23 日、バロチスタン州ジョーブ郡サンバザ地区で、治安機関がアフガニスタンから越境しようとしたテロリストの一団の動きを捉え、侵入を阻止してテロリスト 6 人を殺害したほか、所持品から大量の武器弾薬及び爆発物を押収した。同地区でテロリストらがアフ・パク国境の越境を試みたのは過去 1 週間足らずで 2 回目である。
- 23 日、KP 州コハート郡との境目にあるペシャーワル郡ハサンケル Tehsil タルン地区で、バザールに TTP 関係者がいるとの情報を受け、治安機関は IBO を遂行し、テロリストらと交戦し、テロリストらの搜索活動も開始したが、森林地帯のため夕方以降一時中断した。死傷者の報告はされておらず、24 日朝から IBO が再開される予定である。
- 23 日、KP 州デラ・イスマイル・カーン郡ゴマル・バザール付近で、休暇中の FC 隊員 1 人が、身元不明の武装集団により銃殺された。
- 23 日、KP 州デラ・イスマイル・カーン郡ダラバン・カラン Tehsil で、同州バンヌー郡の Tehsil 議会議長、ボディガード 1 人及び同行者 2 人が、葬儀出席後の帰路で行方不明になった。当局により議長の車両は発見された。
- 23 日、警察は KP 州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ警察署管内のマディ地区で、男性 1 人が身元不明の者らにより射殺されたほか、同郡デラ・タウン警察署管内のバイパス・ロード沿いのワジリスタン・チョークで、男性 1 人が射殺された旨発表した。
- 24 日、BLA 元司令官のナジーブッラー(別人ダルビッシュ。もう一人の BLA 元司令官及び仲間と共に降伏)は記者会見で、BLA 及びバローチ解放戦線 (BLF) と手を組んだ経緯と理由について語った。ナジーブッラーは、外国勢力の利益のために利用されていると感じたため、仲間と共に組織を脱退し、パキスタン憲法の範囲内で、権利を求めて平和的に闘うためにメインストリームの政治に参加することを決意した旨述べた。
- 24 日、バロチスタン州ナシラバード郡デラ・ムラド・ジャマリ地区で、マングリ地区に繋がるミール・ハサン・ロードに身元不明の者らが仕掛けた IED が爆発し、車両に乗っていた 3 人が負傷した。
- 25 日、KP 州ラッキー・マルワット郡ザリーフワール地区で、9 日に同郡で TTP により誘拐されたパキスタン原子力委員会 (PAEC) の契約労働者のうち 1 人の遺体が、誘拐犯から長老らに引き渡された。また、長老らは、PEAC の契約労働者らと共に誘拐されたバス運転手 1 人の解放を確保したという。
- 26 日、バロチスタン州クズダール郡クズダール市から約 25km 離れたコリ地区で、同郡からパンジャーブ州ラワルピンディに向かっていたバスの付近で

爆発が発生し、2人が死亡、7人が負傷した。憲兵隊によれば、バスがクズダール郡ーシンド州カンバル・シャハダードコート郡シャハダードコート間の高速道路上のコリ地区を走行していた際、駐車中の爆発物を積んだ車両が爆発したという。

- 26日、KP州北ワジリスタン郡ダッタケル Tehsil で、検問所が武装集団に襲撃された後、治安機関と武装集団との間で銃撃戦が発生し、治安機関は、テロリスト6人を殺害したが、治安機関員2人が死亡した。また同日、同郡ミール・アリ Tehsil カディ地区で、治安機関が検問所への攻撃を阻止した。
- 26日、KP州コハート郡ムハンマドザイのある住宅内で手榴弾が爆発し、女性2人が死亡、子ども2人が負傷した。
- 26日、KP州ペシャーワル市アフマドケル地区で、カーギー・ザフル・アフマド JUI-F 指導者が、身元不明の者らに射殺された。
- 26日、アーザード・ジャンムー・カシミール議会議長のチョードリー・ラティーフ・アクバルが全ジャンムー・カシミール・ムスリム会議の著名な活動化が PPP への入党を表明する式典に出席するために選挙区の村に移動中、車列が襲撃され PPP 所属議員3人が負傷した。
- 29日、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリ Tehsil ハサンケル地区で、電柱の作業をしていた5人が武装集団により誘拐された。5人は全員地元民ではなかった。同日、同 Tehsil で、FC 隊員1人が武装集団により拉致された。また、武装集団は政府機関に給水していた給水車2台を攻撃し、うち1台に放火した。
- 30日、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリ Tehsil で、テロリストがいるとの報告を受け、治安機関が IBO を遂行し、テロリストの拠点を攻撃し、6人を殺害したが、将校を含む治安機関員2人が死亡した。
- 30日、KP州北ワジリスタン郡で、ダッタケル Tehsil にある駐屯地からグンディの検問所に向かっていた治安機関の車列がテロリストから待ち伏せ攻撃を受けた後に銃撃戦が発生し、治安機関はテロリスト7人を殺害したが、治安機関員2人が死亡した。
- 30日、バロチスタン州クエッタ市マヌジャン・ロードで、帰宅中の警察官1人が身元不明の武装したオートバイ乗りらに銃殺された。
- 30日、バロチスタン州ノシュキ郡ノシュキ・タウンのキリ・メンガル地区で、武装したオートバイ乗りらからの発砲を受けて男性1人が死亡した。
- 30日、KP州ラッキー・マルワット郡のガズニケル警察署管内で、警察官1人が身元不明のオートバイ乗りらからの銃撃を受けて死亡した。
- 31日、KP州クーラム郡北部のブシェラ地区で、敵対グループからの銃撃を受け地元民2人が負傷した。これを受けグループ間で銃撃戦が発生したため、当局が介入し、更なる激化を防ぐために停戦を仲介するとともに警察官等配置していたところ、再び銃撃事件が発生し、クーラム郡の Tehsil 長含む5人が負傷した。その後負傷した警察官1人が死亡した。

2月分

- 1日、KP州クーラム郡南部トゥート・ピアラ地区で、身元不明の者らが重火器で襲撃を始めたが、住民が応戦し、襲撃者らはロケットランチャー、砲弾及びその他の武器を残して逃走した。
- 1月31日～2月1日夜、バロチスタン州カラート郡マンゴチャール地区で、テロリストらが道路封鎖を試みたが、治安機関が阻止し、テロリスト12人を殺害するも、治安機関員18人が死亡した。BLAが犯行声明を出した。
- 1日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡で、バロチスタン州の憲兵隊員らが盗まれたトラックの押収に向かっていたところ、警察署付近で爆弾攻撃を受け、車両が炎上して憲兵隊員4人及び民間人1人が焼死した。
- 1月31日深夜、KP州デラ・イスマイル・カーン郡で、ロケットランチャー、手榴弾及び高度な武器で武装したテロリスト15～20人が、ハザラット・ウマル・ファルーク(ジャンギ)検問所を占拠し、職員らを拉致するために攻撃を加えたが、配備されていた警察官が応戦したため、犯人らは逃走した。職員らは無事であった。
- 2日、バロチスタン州チャマン郡のチャマン・マスター・プラン・プロジェクト(当館注:バロチスタン州政府がチャマン郡を近代都市に変えるために10億ルピー以上の費用をかけて様々な施設を改善すプロジェクト)の現場で、FC隊員1人がオートバイに乗った者らから銃撃を受けて死亡した。
- 3日、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリ Tehsil ムハンマド・キレイ地区でのテロリスト掃討作戦中に地雷が爆発し、将校1人を含む治安機関員5人が負傷した。爆発発生後のフォローアップ作戦で、治安機関は武装集団3人を殺害した。
- 3日、KP州ラッキー・マルワット郡ミール・アラム・マンジワラー地区で、テロリストらと地元住民の間で衝突が発生し、地元住民2人が負傷した。テロリストらはある軍職員1人の拉致を企てていたが、地元住民が阻止した。その後、同地区で武装集団がいるとの報告を受け、警察がIBOを遂行して司令官1人を含む4人を殺害した。同司令官は、昨年10月に同郡で士官候補生1人が死亡したモスク襲撃事案に関与していた。武装集団への作戦が成功した後、警察官らがラッキー市へ向かっていたところ、キーマット・マンジワラー地区でIEDが爆発して警察官4人が負傷した。
- 3日、KP州ハイバル郡ジャムルード Tehsil で、ポリオチームが身元不明のオートバイに乗ったテロリストらから襲撃を受け、同行していた警察官1人が死亡した。同日から7日間のポリオ予防接種キャンペーンが始められたところであった。
- 3日夜、KP州ラッキー・マルワット郡ダラ・ペズ・タウンで、イマームが武装集団6人によりモスクから連れ出された後、殺害された。同人は地元パハルケル・パッカ地区の平和委員会の主要メンバーだった。
- 4日、バロチスタン州クエッタ市で、通勤中のクエッタ郡刑務所副所長が身元不明のオートバイに乗った武装集団に射殺された。
- 4日、KP州ハイバル郡ティラー渓谷ブータン・シャリフ地区のホダル・サ

ル丘の上で、先1月30日にテロリストに誘拐された後監禁されていた民間人2人の遺体が住民によって発見された。遺体の首は切断されていた。地元ジルガは、2人の解放を確保するためテロリストらと交渉を行ったが、テロリストらは2人がスパイ行為を行なったため、25日に実施されたIBOでテロリスト4人が殺害されたと主張した。

- 4日、KP州南ワジリスタン郡北部ラダ Tehsil ザンガラ村で、帰省中の警察官3人が身元不明の武装集団により誘拐された。
- 4日、KP州タンク郡アリケル村で、警察官1人がテロリストらに拉致されたが、武装した地元住民がテロリストらを追跡し、警察官を解放させた。
- 4日、KP州カラク郡サルキ・ラワゲル地区で、武装集団が子どもたちへのポリオワクチン接種を阻止しようとして警察とポリオチームに発砲したが、死者は出なかった。
- 6～7日夜、KP州北ワジリスタン郡ダッタケル地区で、治安機関はIBOを実施しブルカを着たテロリスト3人を殺害した。うち1人はアフガン人であることが特定され、タリバーン暫定政権に遺体の引取りを要請した。
- 6日夜、KP州バンヌー郡ファテケル地区で身元不明の武装集団が検問所を襲撃したが、警察官が応戦して武装集団が負傷するとともに逃走を余儀なくされた。同郡では3日間で2件目となる警察を標的としたテロ事件であった。
- 7日、KP州ラッキー・マルワット郡ワнда・アーミル地区で、休暇で帰省していたFC隊員1人がTTPと見られる武装集団から攻撃を受けて負傷した。
- 7日、KP州バンヌー郡ジャマン・ロードで警察が政府関係者を装った武装集団8人を逮捕し、武器弾薬及び車両を押収した。
- 7日、警察当局は、KP州ハイバル郡ランディ・コータル Tehsil で地元警察署の警察官の自宅が恐喝目的の武装集団から過去数週間で2度目となる襲撃に遭った旨発表した。1月16日に武装集団から自宅に手榴弾を投げつけられ、今回は住宅の外に爆発物が仕掛けられたほか、500万ルピーを恐喝されて、辞職を迫る脅迫電話を受けた。
- 7日、KP州ノーシェラ郡ジェハンギラ Tehsil アコラ・カッタクのウマレイ・キレイ地区で、ポリオチームの警備に当たっていた警察官1人が帰宅中に身元不明のオートバイ乗り2人から銃撃されて負傷した。犯人は逃走した。
- 7日夜、KP州バンヌー郡ファテケル地区でテロリストらが検問所を襲撃したが、警察が応戦し、犯人らは逃走した。銃撃戦で警察官2人が死亡した。同郡では2日間で2回目となる検問所への攻撃だった。
- 7日夜、同州北ワジリスタン郡ミラリ近郊のグルバーズ地区で、地元平和委員会委員長で政府支持派司令官であるマリク・カーディル・ザマンの拠点がライバルの武装集団約30人に襲撃され、主要補佐官を含む3人が死亡、少なくとも約10人が負傷した。一方、司令官の容態については矛盾する報告が出ており明らかではない。
- 9日深夜、5日にKP州南ワジリスタン郡のゴマル運河付近で身元不明の武装集団に誘拐された警察官1人の遺体が同州タンク郡で発見された。

- 10日、KP州ラッキー・マルワット郡バンヌー郡とパンジャーブ州ミアンワリ郡を結ぶ道路のラッキーダラ・タング区間で、装甲人員運搬車に乗った警察官を狙ってIEDが爆発し、車両が損傷したが、警察官らは無事であった。
- 10日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット Tehsil のスター・プラス・マーケット付近で、身元不明のオートバイに乗った武装集団にヒンドゥー教徒2人が射殺され、1人が負傷した。
- 10日、バロチスタン州ケチ郡ブレダ Tehsil で男性1人が身元不明の武装集団に射殺された。
- 10日、KP州ハイバル郡ティラー渓谷バルカンバルケルのマチャプラ地区で民家に迫撃砲弾が直撃し2人が負傷したほか、ティラー渓谷マリクディンケル地区のランディ・キレイでも民家に迫撃砲弾が直撃して男性1人と子ども1人が負傷した。
- 11日夜、KP州ラッキー・マルワット郡ミララム・マンジワラ地区で、テロリストがパキスタン空軍職員所有の廃屋にIEDを仕掛け爆破したほか、隣の牛舎にも放火するとともに、太陽光発電システムを損傷させた。
- 12日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ Tehsil で、武装集団がガバメント・ディグリー・カレッジに手榴弾を投げつけて窓が割れたが、死者は出なかった。
- 12日、当地米国大使館はTTPによる攻撃の脅威があるとしてイスラマバードのファイサルモスク周辺への渡航勧告を発出した。
- 13日、KP州南ワジリスタン郡で、アングル・アダ国境検問所の税関事務所から戻る途中のワジリスタン商工会議所(WCCI)会長と税関職員2人が拉致された。
- 13日、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマール Tehsil アザム・ワルサック地区にある医療施設で、パキスタン赤新月社(PRCS)に所属する医師が身元不明の武装集団5人から銃を突きつけられて拉致された。
- 14日、KP州クーラム郡南部カピアンガ地区で、男性とその子どもが薪を集めていた際に誤って爆発物を踏んでしまい、2人は重傷を負った。
- 14日、バロチスタン州ハルナイ郡シャハラグ地区でIEDが爆発し、タカリ炭田から同地のバザールにバスで向かっていた炭鉱労働者12人が死亡、6人が負傷した。
- 15日夜、KP州南ワジリスタン郡でシャカイ警察署がミリタント約40人に襲撃された。警察側の報復により犯人らは逃走したが、警察官1人が死亡した。
- 15日、シンド州カラチ市オランギ・タウンのマンゴピール地区で、警察官1人がオートバイに乗ったテロリストらにより射殺された。ハキームツラー・マスード・キャラバンがソーシャルメディア上で犯行声明を出した。同グループは、ハーフィズ・グル・バハダール率いるTTPガズワと同盟関係にあり、以前は旧FATAで活動していた。
- 16日朝、バロチスタン州カラート郡トゴ・チピール地区で検問所が身元不明の者らに襲撃された。憲兵隊の報復で犯人らは逃走したが、銃撃戦で憲兵隊

員 1 人が死亡、2 人が重傷を負った。

- 15 日深夜、バロチスタン州ケチ郡で、検問所が身元不明の武装集団に襲撃され、銃撃戦で兵士 3 人が死亡、6 人が負傷した。
- 15 日夜、バロチスタン州アワラン郡マシュケイ地区で、武装集団らが警察署と憲兵隊事務所を襲撃しようとしたが、警察官らが抵抗し侵入を阻止した。
- 16 日夜、バロチスタン州ノシュキ郡の警察署に身元不明のオートバイ乗りらが手榴弾を投げ込むと共に発砲したが、警察が応戦して犯人らは逃走した。死傷者は報告されていないが、建物の近くで手榴弾が爆発した衝撃で警察署の壁が損傷した。
- 17 日昼、KP 州クーラム郡南部マンドリ付近のウチャート・カレイで救援物資を運ぶ車列が発砲を受け、車列を護衛していた治安機関員が報復すると共に、軍のガンシップヘリコプター 2 機が現場周辺を砲撃した。攻撃により兵士 1 人が死亡、警察官 1 人、トラック運転手 2 人及び民間人 4 人が負傷した。同日夕方、武装集団が立ち往生している救援トラックを略奪するのを治安機関が阻止しようとした際に 2 回目の攻撃が同じ場所で発生した。武装集団は FC の車両に発砲し、治安機関員 5 人が負傷した。更に同日夜、ウチャート・カレイの公立高校付近で、負傷者の救出のために到着した FC の即応部隊の車列が待ち伏せ攻撃を受け、交戦で FC 隊員 4 人が死亡したほか、車両 3 台が損傷した(武装集団側の被害は不明)。これを受け、KP 州政府はマンドリとウチャートでテロリストを一掃するための新たな作戦の開始を決定した。作戦の前に地元住民を移転させる予定である。
- KP 州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ Tehsil で道路沿いに仕掛けられた IED が爆発し、治安機関員 2 人が死亡したほか、被害に遭った治安機関車両が完全に破壊された。また同州バジョール郡バラング Tehsil で、IED の爆発により通行人 1 人が死亡した。
- 17 日、バロチスタン州アワラン郡マシュケイ地区で検問所が銃撃され、治安機関員 2 人が死亡、8 人が負傷した。治安機関の応戦で少なくともテロリスト 3 人を殺害した。
- 17～18 日、コハート郡のシャディプール検問所付近で、警察が不審な車両に停止を命じた際に武装集団 6 人(内 3 人はブルカ着用)が警察に発砲したため、警察が応戦してテロリスト 1 人を射殺するも、残りのテロリストは逃走したほか、警察官 1 人が負傷した。その後、コハート郡警察長率いる掃討作戦が開始され、テロリスト 3 人を殺害した。
- 18 日、バロチスタン州バルカン郡で、身元不明の武装集団約 40 人が、同郡とパンジャーブ州デラ・ガジ・カーン郡を結ぶ高速道路のラカニ付近でバスやその他車両数台を停止させ、身分証明書を確認した後パンジャーブ出身の 7 人をバスから下ろして殺害した。
- 18 日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット Tehsil ナシラバード地区で、身元不明のオートバイに乗った武装集団が、同 Tehsil とマンド Tehsil を結ぶ道路を建設中の辺境開発機構(FWO、軍系)の野営地を襲撃し、建設機械に放火

した後逃走した。機械は激しく損傷したが、死傷者は報告されていない。

- 19日、KP州バジョール郡マムンド Tehsil ダマドラ・セライ地区で、ポリオ・チームを警護していた警察官1人が持ち場へ向かう途中にオートバイに乗った武装集団から発砲を受けて死亡した。ポリオ・チームは無事であった。
- 19日、KP州モーマンド郡クエザイ地区及びバイザイ地区で、アフガニスタンから発射された砲弾8発が着弾し、FC隊員2人が死亡、2人が負傷した。パキスタンの治安機関も応戦した。
- 19日、KP州ハイバル郡ランディ・コータル Tehsil バザール・ザカケルのサソビ地区にある基地がアフガン軍からの発砲を受け、治安機関員1人が死亡、1人が負傷した。アフガン軍は、バザール・ザカケルのサソビ基地、サソビ検問所2・3及びナカイ検問所1を狙った。パキスタン軍はアフガニスタン側の検問所を狙って応戦し、銃撃戦は2時間以上続いた。
- 20日、同州パンジュゲール郡ゴマゼイン・サバザップ地区で身元不明の武装集団が住宅に侵入して発砲し、2人を射殺、通行人2人を含む3人を負傷させた。
- 20日深夜、バロチスタン州クエッタ市シャバン地区で検問所が武装集団に襲撃され、警察官2人が死亡、2人が負傷した。現場に到着したCTDとFCが反撃して襲撃者4人を殺害した。
- 20日深夜、バロチスタン州クエッタ市郊外シカンデラバードのカンプラニ・ロードで、男性が爆弾を仕掛けようとしたが予定より早く爆発し、その場で死亡した。
- 20日夜、KP州ペシャーワル市ダウザイ警察署管内で警察官1人が身元不明の者らからの発砲を受けて死亡した。
- 20日夜、同州バンヌー郡のキングー・ブリッジ検問所が身元不明の者らに襲撃された際、オートバイで通行していた民間人2人が流れ弾に当たり死亡した。
- 21日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット Tehsil でのテロ攻撃でFC隊員1人が死亡した。
- 21日、KP州南ワジリスタン郡ワナ Tehsil の記者クラブの外で、地域の平和を熱心に訴え大統領賞も受賞した部族長老のマリク・アブドゥル・カーリクが、身元不明の者らから銃撃を受けて死亡した。
- 22日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット・タウンのスター・プラス・マーケットにある刺繍店がオートバイに乗った身元不明の武装集団に発砲され、従業員2人が死亡した。
- 22日、バロチスタン州カラン郡カラン・タウンのレッド・ゾーンで爆発が2回発生したが、死傷者は報告されていない。
- 22日、バロチスタン州カラン郡カラン・タウンで身元不明の武装集団がシンド州出身の男性1人に発砲して殺害した。犯人は逃走した。
- 22日、KP州カラク郡バンダ・ダウド・シャー Tehsil トータカイ地区で、クーラム警察署の警察官がオートバイに乗った武装集団を停止させようとした

際発砲を受け、銃撃戦で武装集団1人が死亡した。もう1人は逃走した

- 23日、バロチスタン州カチ郡で、2つの武装集団が2つの地点(ピール・ガーン及びアビグム)でクエッターシビ郡間の高速道路を封鎖し、通行者をチェックし始めたことを受け、治安機関が現場に急行し、銃撃戦でテロリスト3人を殺害したほか、人質に取られていた乗客らを解放するも、テロリストらは逃走した。銃撃戦で1人が死亡、4人が負傷した。同日深夜高速道路は再開された。
- 24日早朝、KP州北ワジリスタン郡スピンワム Tehsil ダルウェシュタ地区で検問所に対するテロ攻撃が発生し、応戦した治安機関との間で銃撃戦が繰り広げられた。治安機関はテロリスト3人を殺害するも、治安機関員4人が死亡、2人が負傷した。
- 24日、バロチスタン州カラート郡マンゴチャール地区のクエッターカラチ間の国道で身元不明の武装集団が仕掛けたIEDが爆発し、セインダク金・銅プロジェクトの現場からカラチへ銅を輸送していたトラックの車列29台を警備していた車両に直撃した。爆発によりFC隊員6人を含む8人が負傷した。20年以上に亘り同プロジェクトに携わる中国企業MRDL社はトラックの運転手を含む2人の負傷者を確認したが、当局によれば車列に中国人はいなかった。
- 23日にバロチスタン州クエッター・シビ郡間の高速道路で発生した治安機関とテロリストらとの銃撃戦で、24日更にもう1人が死亡し、死者は2人となった(負傷者は3人)。
- 24日、バロチスタン州ハブ郡サラファ・バザールのリンド・マーケットで、武装集団が宝石店に押し入り3人殺害したほか、同日、同州カラート郡で身元不明の者らが男性1人を殺害した
- 24日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡で、カイザル・カーンPPPデラ・イスマイル・カーン県支部長が自身の警護員及びスタッフと共に拉致された。
- 25日深夜、KP州カラク郡バンダ・ダウド・シャーTehsilにある警察署がテロリストらから攻撃を受けたが、現場の警察官が反撃して犯人らは逃走した。警察側は全員無事であった。
- パンジャーブ州アトック郡のハズロ警察が7日にハズロ Tehsil ハティアンで警察官1人を殺害したとされるテロ容疑者ヌール・ワリ・カーンをペシャールから移送していた際、バハドゥール・カーン付近でオートバイに乗った武装集団5人からの待ち伏せ攻撃を受け、犯人らは同テロ容疑者を解放することに成功した。攻撃を受け、警察は犯人らをピルザイまで追跡し、そこで発生した銃撃戦でヌール・ワリ・カーン及び共犯者3人が味方からの誤射により死亡した。警察は残り2人の捜索を開始した。
- 28日、KP州ノーシェラ郡ジェハンギラ Tehsil アコーラ・カタックダール・ウルーム・ハッカニア(当館注:デオバンド派の神学校)で自爆テロが発生し、ハミードウル・ハック・ハッカーニ JUI-S 党首(タリバーンの父と呼ばれるサミウル・ハックの子息で、同神学校の副総長)を含む6人が死亡、ハック

氏を警護していた警察官 3 人を含む 18 人が負傷した。ハック氏が祈祷を終えて神学校を出た際に自爆テロ犯の標的になった。欧米メディアからしばしばジハード大学と呼ばれる同神学校は、ジャラルッディン・ハッカーニ・ハッカーニ・ネットワーク (HN) 創設者、その子息シラジュッディン・ハッカーニ・タリバーン暫定政権内相代行等 HN の主要人物を輩出した。タリバーン暫定政権内務省報道官は同攻撃を強く非難し、本事案は IS-K による犯行であると主張した。

- 28 日、バロチスタン州クエッタ市のジャン・ムハンマド・ロードとアル・ギラーニ・ロードの交差点で、身元不明の者らがオートバイに仕掛けた IED が爆発し、FC 隊員 1 人を含む少なくとも 9 人が負傷した。爆発により FC 車両は大きな損害を受け、近くの店舗や建物の窓ガラスが割れた。
- 28 日、シンド州カラチ市で、身元不明のテロリストらがプリーディ警察署に爆竹ないし手榴弾を投げ込み、警察官 3 人が負傷したほか、車両 1 台が損傷し、建物の窓ガラスが割れた。

3月分

- 1 日、KP 州北ワジリスタン郡エイダク地区で、自爆テロ犯が爆発物を積んだ車両を兵士の車列に突っ込ませ、兵士 2 人が死亡、民間人 2 人を含む少なくとも 10 人が負傷した。
- 1 日、KP 州ラッキー・マルワット郡アバサ・カタックとワンダ・シャハバケルの間で、警察パトロール隊がテロリストの待ち伏せ攻撃を受けた後に銃撃戦が発生し、警察はテロリスト 1 人を殺害するも、共犯者らは逃走した。銃撃戦で警察官 1 人が負傷した。
- 1 日、バロチスタン州クズダール郡ゼヘリ Tehsil タルサニ地区で、帰宅途中の JUI-F の地元指導者 2 人が身元不明のオートバイ乗りらから銃撃され死亡、いずれかの警護員 1 人も負傷した。
- 2 日、KP 州バジョール郡カル Tehsil バディサムール地区で、同郡警察の即応部隊隊長を務める警察官 1 人が身元不明の者らからの待ち伏せ攻撃を受け死亡した。
- 2 日、KP 州コハート郡ナスラトケル地区で、神学校ダルル・ウルーム・ナスラトケルの管理人とその警護が身元不明の者らに銃殺された。
- 3 日、バロチスタン州カラート郡ムガルザイ地区で、女性が FC の車列に対して自爆攻撃を行い、FC 隊員 1 人が死亡、4 人が負傷した。BLA が犯行声明を出した。
- 2 日、KP 州北ワジリスタン郡ミランシャー Tehsil のスパルガ、ゴーシュ、タピ、バルワナ、ピパナ・ローワー及びピパナ・トップの 6 つの検問所がテロリストからの同時攻撃を受けたが、現場の治安機関が攻撃を阻止し、銃撃戦でテロリスト 13 人を殺害、数人を負傷させた。しかし、治安機関要員 4 人が死亡、13 人が負傷した。
- 3 日、パンジャーブ州デラ・ガジ・カーン郡ムルハに武装勢力がいるとの報告を受け、同州警察は CTD 及びレンジャー部隊と共に作戦を実施し、武装勢

力の攻撃を阻止した。また、同郡ラカニ検問所が武装勢力約 15~20 人からの攻撃を受けたが、警察が応戦して排除した。武装勢力側に多くの死傷者が出たと見られる。

- 4日、KP 州バンヌー郡で、テロリストがカントメントの入口で治安機関要員に攻撃を阻止されたが、爆発物を積んだ車両 2 台がカントメントの境界壁に突っ込んだ。その後不特定多数の武装勢力が基地に侵入しようとしたため銃撃戦が発生し、部隊は自爆犯 4 人を含む 16 人のテロリスト全員を殺害したが、兵士 5 人が死亡した。情報筋によれば、TTP のハーフィズ・グル・バハーダル派の一派ジャイシェ・フルサン・ムハンマドが犯行声明を出した。近隣のモスクと民間住宅も深刻な被害を受け、民間人 13 人が死亡、32 人が負傷した。

軍統合広報局 (ISPR) は、報告書がこの凶行にアフガン人が物理的に関与していたことを明白に確認しており、この攻撃がアフガニスタンから活動するテロリスト首謀者らによって計画され、指揮されていたという事実を示唆する証拠もあると発表した。

- 3 日夜、シンド州グワダル郡パスニ Tehsil 及びオルマラ Tehsil の間にあるマコラ地区で、身元不明の武装集団がマクラン沿岸高速道路 (N-10) を封鎖し通行車両をチェックし始め、ガスタンクカー 6 台と高速道路警察車両 1 台を強取して放火した。ガスタンクカー 3 台は完全に燃え、ほかの 3 台は損傷した。犯人らは、ガスタンクカー 3 台に発砲してタイヤに穴を開けた後、高速道路警察を襲撃した。ガスタンカーはカラチに LPG を供給しており、イランに戻る途中だった。
- 5 日、バロチスタン州クズダール郡ナール Tehsil のメインバザールで、親政府派の部族長老アブドゥル・サマド・サマラニの車両を狙って IED が爆発し、同乗の 5 人が死亡、10 人が負傷した。サマラニ氏は負傷したものの一命を取り留めた。
- 7 日、KP 州バジョール郡サラルザイ Tehsil バル・マラサイドで道路脇の IED と見られる爆弾が爆発し、治安機関要員 2 人が死亡、2 人が負傷した。
- 7 日深夜、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット Tehsil で、JUI-F と親しい関係にある同州の著名な宗教学者ムフティ・シャー・ミールが身元不明のオートバイに乗った武装集団からの銃撃を受け死亡した。同宗教学者は以前にも 2 度命を狙われたことがあった。インドのメディアによれば、同宗教学者はクルブシャン・ヤダフ調査分析局 (RAW) 諜報員の逮捕 (2016 年) を手助けした。
- 7 日、KP 州ペシャーワル市シャープール地区で身元不明の武装集団からの発砲を受け、警察官とその兄弟が死亡、死亡した警察官の叔父と甥を含む 3 人が負傷した。
- 8 日、バロチスタン州クズダール郡オルナチ地区で武装集団約 100 人が警察署及び憲兵隊事務所を占拠するためメインバザールを封鎖した。武装集団は警察官から武器やその他の装備を全て奪い、書類を物色した後警察署に放火した。武装集団は憲兵隊事務所も占拠しようとし、憲兵隊から武器を奪おうするが抵抗に遭い失敗するも、憲兵隊のパトロール車両に放火した後、警察車

両1台と自動小銃13丁及び弾薬を奪った。

- 8日、バロチスタン州クズダール郡ゼヘリ Tehsil のソーンダー・ダム建設現場で、武装集団が監視員を人質に取った後機械に放火した。全ての設備と機械が火災で完全に焼け落ちた。
- 7日、バロチスタン州デラ・ブクティ郡スイ Tehsil の住宅が手榴弾攻撃を受け、子ども1人が死亡、2人が負傷した。
- KP 州バンヌー郡のドメル警察の車両付近で爆発が発生し、警察官1人が負傷した。
- パンジャーブ州警察は、同州デラ・ガジ・カーン郡のKP州との州境付近にあるのラカニ検問所でテロリスト20~25人からの攻撃を阻止した。過去24時間で2回目となる攻撃であり、今週同検問所で3回の攻撃が阻止された。
- 9日、KP 州クーラム郡中央部タクレ・パティ・チナラク地区でテロリスト達からの待ち伏せ攻撃を受け、治安要員3人が死亡、4人が重傷を負った。
- 9日、バロチスタン州カッチ郡マチのジャンバリ地区で、武装集団がクエッタ・シビ間的高速道路を封鎖し車両を止めようとしたため治安機関が対処するも、FC 隊員2人が死亡、1人が負傷した。
- 9日夜、バロチスタン州パンジュゲール郡ゴワルゴ Tehsil で、シンド州出身の理髪師3人が身元不明の武装集団に射殺された。
- 10日、KP 州コハート郡のタンダ・ダム付近でCTD 職員2人が襲撃されて死亡した。ハーフィズ・グル・バハダール・グループが犯行声明を出した。
- 10日、KP 州バジョール郡ロウィ・マモンド Tehsil タルク地区で、身元不明の者らからの銃撃を受け警察官ら2人が死亡した。
- 11日、バロチスタン州カッチ郡(旧ボラン郡)ボラン峠のダーダル地区で急行列車がテロリストからの襲撃を受け、治安機関員多数を含む乗客400人以上が人質となる事案が発生した。
- 12日、アフメド・シャリフ・チョードリーISPR 局長は、バロチスタン州カッチ郡で発生したジャファル・エクスプレス襲撃事件に対する救出作戦の終了を発表し、テロリスト33人を殺害するも、乗客21人及びFC 隊員4人が死亡した旨述べた。救出された人質の総数は明らかにされなかったが、治安当局によれば、第一段階で100人強、第二段階で80人以上が救出されたほか、鉄道警察官2人を含む乗客約12人もテロリストらから逃れることに成功した。
- 13日、KP 州南ワジリスタン郡との境界にあるタンク郡ジャンドラ地区で、FC の検問所の外で自爆攻撃があり、治安機関員3人が負傷した。爆発後断続的な銃撃戦が続き、攻撃ヘリコプターが周辺をパトロールした。その後、テロリストらが同検問所を突破しようとしたが、治安機関が阻止し、爆発物を積んだテロリストの車両は境界壁に衝突したほか、銃撃戦で自爆テロ犯を含むテロリスト10人全員を殺害した。
- 14日、バロチスタン州における急行列車襲撃事案に関し、アフメド・シャリフ・チョードリーISPR 局長は、ブグティ・バロチスタン州首席大臣と共に記者会見を行った際、パキスタン国内外のテロリスト、支援者及び扇動者を取

り締まる旨宣言した。同局長によれば、36 時間以上に亘る作戦で乗客 354 人が救出されたが、人質 26 人(軍人及び FC 隊員 18 人、鉄道職員 3 人及び民間人 5 人)が死亡したほか、治安機関員 5 人が死亡した。救出された人質の内 37 人が負傷し治療中であることから、死傷者が更に増える可能性がある。同局長は、今般事案をアフガニスタンと関連付けたほか、作戦中にインドのメディアがテロリストを称賛することを目的とした情報戦キャンペーンを展開したと述べた。ブグティ・バロチスタン州首席大臣もインドの諜報機関である RAW がアフガニスタンを通じて反パキスタン活動を画策していると非難した。

- 14 日、KP 州南ワジリスタン郡南部ビルマール Tehsil アザム・ワルサック・バザールのモスク内で爆発が発生し、モラーナ・アブドゥッラー・ワジール JUI-F 同郡支部長を含む 4 人が負傷した。同支部長は以前から殺害予告を受けており、約 7～8 か月前にも攻撃されていた。
- 15 日朝、KP 州ラッキー・マルワット郡アバサ・カタック地区でミリタントらが検問所を占拠しようとしたが、警察官が撃退したほか、銃撃戦で武装勢力 1 人を殺害した。即応部隊(QRF)、近隣の警察署の警察官及び武装した地元民が警察を支援した。また同地域のダディワラ警察署管内ワンダ・ベグ・カーン付近で警察車両が IED の標的となり、運転手が負傷したが、ほかの警察官は無事だった(警察官 3 人が負傷したとの情報もあり)。警察は報復し、武装勢力 1 人を殺害、ほかの 6～7 人は逃走した。更に、同郡ダディワラ地区及びダラ・ペズ地区で武装勢力が各々の警察署に攻撃を仕掛けたが、警察が侵入を阻止した。
- 14 日夜、KP 州バンヌー郡ゴリワラの警察署及びクジャリの検問所が武装勢力からの手榴弾攻撃を受けたが、警察が対処したほか、バックケル地区の警察署が武装勢力からの発砲を受けたが、警察は対処した。クジャリでは武装した地元民が警察を支援した。また、同州バジヨール郡イナヤット・カレイ・バザールでロウイ・サム警察署長の車両が身元不明の武装集団からの発砲を受け、警察官 1 人と民間人 3 人が負傷した。
- 15 日、KP 州ペシャーワル市郊外のウルマール地区にある活動禁止団体ラシユカレ・イスラム(LI)の創始者ムフティ・シャーキルの神学校の外で爆発が発生し、同創始者が死亡、3 人が負傷した。
- 15 日夜、バロチスタン州クエッタ市ブリュベリー・ロードで、テロ対策部隊(ATF)がパトロールしていた際に IED が爆発し、ATF 隊員 1 人が死亡、6 人が負傷した。
- 15 日夕方、パンジャーブ州ジェーラム郡のマンガラ・ジェーラム間の道路で、ある活動禁止団体の主要司令官アブ・カタール(本名ジア・ウル・ラフマーン)の車両がオートバイに乗った襲撃者からの発砲を受け、同司令官及び彼の護衛が射殺された。同司令官の元側近は RAW による標的殺害である旨主張した。
- 16 日、バロチスタン州ノシュキ郡付近で、クエッタ・タフタン間高速道路を走っていた FC の車列に爆発物を積んだ車両が突っ込み、治安機関員 3 人及

び民間人2人が死亡、兵士約40人が負傷した。その後の掃討作戦で、治安機関はテロリスト3人を殺害した。

- KP州カラク郡で、テロリストがヤクブ・カーン・シャヒード警察署及びガス施設を占領するために同時攻撃を仕掛けたが、警察が対応し犯人らは逃走した。しかし警察官1人が死亡した。同様の攻撃が同郡イサーク・クマリ地区のガス施設のサービス・メーター・システムにも行われ、警備員1人が死亡、1人が負傷したが、銃撃戦でテロリスト1人を殺害した。同州ペシャーワル市のパジュガイ検問所が攻撃を受け、警察官1人が死亡した。攻撃後即座に新たな警察部隊が到着し、攻撃を阻止した。
- 15日夜、KP州バジョール郡ダルバノにある検問所が身元不明の者らからの攻撃を受けたが、警察が応戦し犯人らは逃走した。
- 16日、KP州バンヌー郡ミランシャー・ロードで、警察官1人が武装したオートバイに乗りらの標的となり死亡した。犯人らは逃走した。これを受け、同郡バラン橋付近で警察及びCTDはIBOを実施し、テロリスト2人を殺害したが、治安機関員1人が死亡した。
- 16日深夜、KP州ラッキー・マルワット郡セライ・ガンビラ・タウンで警察署が10～15人のテロリストによって襲撃されたが、警察が対処した。警察官は全員無事だった。
- 16日、KP州ペシャーワル市で、検問所が手榴弾攻撃を受けた他、バイパス・ロードのハイバル検問所が発砲を受け、警察官2人が負傷した。報復を受けて犯人らは負傷するも逃走した。
- 17日、KP州ハイバル郡ジャムルード Tehsil のFC検問所が攻撃され、FC隊員はテロリストらとの銃撃戦を繰り広げたが、犯人らは逃走した。
- 17日、バロチスタン州クズダール郡でハブ市警察署長の住居が手榴弾攻撃を受け、家族5人が負傷した。
- 18日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡シンガル地区付近のチャシュマ・ロードで、帰宅中の警察官1人が身元不明の者らに銃撃されて死亡した。犯人らは逃走した。
- 18日、KP州マラカンド郡で、パトロール中のスワート高速道路警察の車両が身元不明の者らからの攻撃を受け、警察官1人が負傷した。高速道路警察が報復したところ、犯人らは逃走した。
- 19日、バロチスタン州カラート郡マンゴチャール地区で高速道路警察がパトロールしていたところ、武装集団により車両2台、カラシニコフ2丁、拳銃4丁及び携帯電話4台を奪われた。
- 19日、KP州ノーシェラ郡ケシュギ・パヤン地区で帰宅中の警察官1人が身元不明の武装集団から襲撃を受け死亡した他、チャルサダ郡ウマルザイ・バザールで勤務中の警察官1人が身元不明のオートバイに乗った襲撃者らからの発砲を受け、重傷を負った。
- 20日、KP州バンヌー郡バルガント地区の放棄された検問所に武装勢力の旗が立てられた。

- 21日、KP州ラッキー・マルワット郡セライ・ノーラング・タウンで、オートバイに乗った武装した2人からの攻撃を受け警察官1人が死亡した他、同州バンヌー郡ドレイ・クレイ地区で武装集団からの襲撃を受け警察官1人が死亡、その子どもが負傷した。
- 22日夜、バロチスタン州ノシュキ郡ガリババード地区で、オートバイに乗った身元不明の武装集団がパトロール中の警察車両に両側から発砲し、警察官4人が死亡した。
- 22日、バロチスタン州カラート郡マンゴチャール地区マラングザイで、農業用の井戸を掘削していたパンジャーブ州出身の労働者4人が身元不明の襲撃者らにより射殺された。BLAが犯行声明を発出した。
- 22日、KP州クーラム郡パラチナルで手榴弾爆弾が爆発し、3人が死亡、1人が負傷した他、同州ラッキー・マルワット郡で警察官1人が身元不明のテロリストらに誘拐された。
- 21日夜、パンジャーブ州アトック郡カタック・コロニー付近で、帰宅中のJUI-Fアトック市副支部長が覆面の男らに射殺された。
- 25日、KP州南ワジリスタン郡南部アザム・ワルサックのトーラ・ゴラ地区付近で警察官1人が武装集団に襲撃され死亡した。同日、同州ハンダー郡ダルワザイ・パロサ・ロードで、身元不明のオートバイ乗りらから襲撃され警察官1人が死亡した。同日夜、同州ラッキー・マルワット郡ミールアラム・マンジワラー地区で、テロリストらからの襲撃を受け警察官1人が死亡、1人が負傷した。
- 26日深夜、バロチスタン州グワダル郡で武装集団が主要高速道路を封鎖し、少なくとも5人を殺害した他、タジャバン地区でグワダル港からアフガニスタンへ向かう大型トレーラー3台に放火した。
- 26日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット、パンジュゲール郡、グワダル郡パスニ、カッチ郡(旧ボラン郡)、同郡コルプール及びマストゥング郡でも道路封鎖が目撃され、マストゥング郡では憲兵隊の車両1台が放火された。
- 26日、バロチスタン州グワダル郡パスニとオルマラ間のカルマット地区で、カラチ行きのバスに乗ったパンジャーブ州出身者6人が武装集団に殺害された。
- 26日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ・モル近郊で治安機関の車列が襲撃され、その後の銃撃戦で治安機関員2人が死亡、3人が負傷した。
- 26日、KP州南ワジリスタン郡ボマイ村で警察官1人が射殺された。
- 27日、バロチスタン州クエッタ市の主要道路で、パトロール中の警察車両を標的として身元不明の者らがオートバイに仕掛けた爆弾が爆発し、著名な医師を含む少なくとも3人が死亡、警察官4人を含む21人が負傷した。
- 27日、過去24時間以内にバロチスタン州全域で攻撃が発生し、少なくとも14人が殺害された。同州ケチ郡トゥルバットの住宅で手榴弾攻撃が発生し、5人が死亡した。
- 27日、バロチスタン州マストゥング郡で身元不明の者らからの攻撃でCTD

職員を含む3人が殺害された。また、同郡でパンジャーブ州出身の運転手2人が武装集団に誘拐された。さらに、パンジュゴール郡の変電所の職員1人が武装集団から発砲を受け、負傷した

- 28日、KP州南ワジリスタン郡アザム・ワルサックで、帰宅中の医師が身元不明の武装集団に銃殺された。
- 29日、バロチスタン州マストゥング郡ラクパス地区付近でBNP-Mが先般逮捕されたマフラング・バローチ・バローチ団結委員会(BYC)指導者等の釈放を求めて座込みをしていた際、自爆テロ犯が侵入しようとするも、警備員に阻止された後、座込み場所から離れた場所で自爆した。同州報道官はこれによる死者は出ていない旨述べたが、サルダール・アクタル・メンガルBNP-M党首によれば、少なくとも党員4人が負傷した。
- 29日、KP州オラクザイ郡北部トル・サマット地区付近のマモザイ・ロードで、武装集団が仕掛けたIEDが爆発し、パトロール中のFC隊員2人が死亡、5人が負傷した。
- 29日早朝、KP州マルダン郡カトラング Tehsil シャモザイ地区で、少なくとも11人が死亡した。同州政府は武装勢力に対するIBOを実施し、重要人物複数人を殺害したが、民間人も巻き添え被害にあった旨発表した。他方、地元民は治安機関による無人機攻撃で女性や子どもを含む羊飼いらが犠牲になった旨主張しており、死亡者は全員グジャル族であった。遺族らは、シャモザイおよび隣接地域の住民と共に抗議活動を行い、スワート郡のグジャル族の指導者は正義を求め、KP州政府に遺族への補償を求めた。
- 30日夕方、KP州ラッキー・マルワット郡ドダ地区で、警察官1人が覆面の男性2人から銃撃を受け負傷した。警察官はTTPのテロリストらに攻撃されたと述べた。

(以上)